

令和6年用いちご病害虫防除基準

※ランナーを切り離れた時点より使用回数をカウントする。
 ※殺虫剤を散布する場合は、訪花昆虫に対する薬剤ごとの安全使用基準を徹底する。

発行：J A さ が え 西 村 山
 さ が え 西 村 山 野 菜 振 興 協 議 会

防除時期	対象病害虫名	RAC	防 除 方 法	〔収穫前使用日数/使用回数〕	注 意 事 項
育苗1ヶ月前	萎ちょう病 炭そ病 芽枯病 青疫	8F	土壌の消毒を行う。 バスアミド微粒剤 [Ⓢ] 30kg/10a〔仮植または定植21日前まで/1回〕を均一に散布し土壌混和する。		1. 炭そ病、萎ちょう病、萎黄病は苗で伝染するので健全な株から苗（ランナー）をとる。 2. 青枯病、萎黄病、萎ちょう病は発生後の防除方法がないため、採苗や定植～栽培は発病菌のないほ場で実施し、仮植床～本圃まで一貫した防除を行う。 3. 萎黄病が発生した株は抜き取り、圃場外に持ち出して処理する。 4. ミツバチの巣箱周辺での使用は避ける。
	炭そ病	10,1	ゲッター水和剤	1,000倍（10g/10ℓ）〔収穫開始21日前まで/3回以内〕を10a当たり100～300ℓ散布する。	
（仮植床） （仮植時）	（炭そ病）				1. 仮植前の苗をベンレート水和剤の希釈液（500倍）に10～30分間苗根部浸漬（1回）するか、または、育苗時にベンレート水和剤の希釈液（500倍）を50～100ml/株灌注（3回以内）する。
育苗期	（イチゴメセンチュウ） （イチゴセンチュウ）		苗で伝染するため。健全な株から苗（ランナー）をとる。		1. 苗で伝染するため、健全な株から苗（ランナー）をとる。
	炭そ病	M4 10,1	オーソサイド水和剤80	800倍（12.5g/10ℓ）〔収穫開始14日前まで/5回以内〕	のいずれかを10a当たり100～300ℓ散布する。
	芽枯病	M4	オーソサイド水和剤80	800倍（12.5g/10ℓ）〔収穫開始14日前まで/5回以内〕を10a当たり100～300ℓ散布する。	
	輪斑病	M7	ベルコートフロアブル	1,000倍（10ml/10ℓ）〔育苗期（定植前）/5回以内〕を10a当たり100～300ℓ散布する。	1. 無病株から苗をとる。 2. 被害葉は集めて適切に処分する。 3. 重粘で多湿の畑で発生が多い。
定植時	アブラムシ類	4A	ベストガード粒剤 1g/株〔定植時/1回〕を植穴処理土壌混和する。		
育苗期	灰色かび病	2	ロブラール500アクア	1,500倍（6.6ml/10ℓ）〔前日まで/4回以内〕を散布する。	のいずれかを10a当たり100～300ℓ散布する。
		9	フルピカフロアブル	3,000倍（3.3ml/10ℓ）〔前日まで/3回以内〕	
		12	セイビアフロアブル20	1,000倍（10ml/10ℓ）〔前日まで/3回以内〕	
		7	アフエツフロアブル	2,000倍（5ml/10ℓ）〔前日まで/3回以内〕	
	うどんこ病 （炭そ病）	M7	ベルコート水和剤	4,000倍（2.5g/10ℓ）〔前日まで（生育期）/5回以内〕	のいずれかを10a当たり100～300ℓ散布する。
		3	トリフミン水和剤	3,000倍（3.3g/10ℓ）〔前日まで/5回以内〕	
		NC	カリグリーン	800倍（12.5g/10ℓ）〔前日まで/ー〕	
		11	アミスター20フロアブル	2,000倍（5ml/10ℓ）〔前日まで/苗床4回以内、本圃3回以内〕	
	アブラムシ類 （コナジラミ類）	4A	ベストガード水溶剤	2,000倍（5g/10ℓ）〔前日まで/3回以内〕	のいずれかを10a当たり100～300ℓ散布する。
		1B	マラソン乳剤	2,000倍（5ml/10ℓ）〔3日前まで/5回以内〕	
9B		チェス顆粒水和剤	5,000倍（2g/10ℓ）〔前日まで/3回以内〕		
29		ウララDF	2,000倍（5g/10ℓ）〔前日まで/2回以内〕		
23		モベントフロアブル	2,000倍（5ml/10ℓ）〔前日まで/3回以内〕		
ミカンキイロアザミウマ （アザミウマ類）	4A	モスピラン顆粒水溶剤 [Ⓢ]	2,000倍（5g/10ℓ）〔前日まで/2回以内〕	のいずれかを10a当たり150～300ℓ散布する。	
	3A	アーデント水和剤	1,000倍（10g/10ℓ）〔前日まで/4回以内〕		
	5	ディアナSC	2,500倍（4g/10ℓ）〔前日まで/2回以内〕		
	15	カスケード乳剤	4,000倍（2.5ml/10ℓ）〔前日まで/3回以内〕		
	30	グレーシア乳剤	2,000倍（5ml/10ℓ）〔前日まで/2回以内〕		
	34	ファインセーブフロアブル [Ⓢ]	2,000倍（5ml/10ℓ）〔前日まで/3回以内〕		
ハダニ類	20D	マイトコーネフロアブル	1,000倍（10ml/10ℓ）〔前日まで/2回以内〕	のいずれかを10a当たり100～300ℓ散布する。	
	25A	ダニサラバフロアブル	1,000倍（10ml/10ℓ）〔前日まで/2回以内〕		
	6	コロマイト水和剤	2,000倍（5g/10ℓ）〔前日まで/2回以内〕		
	25A	スターマイトフロアブル	2,000倍（5ml/10ℓ）〔前日まで/2回以内〕		
	25B,21A	ダブルフェースフロアブル	2,000倍（5ml/10ℓ）〔前日まで/1回以内〕		
	33	ダニオーテフロアブル	2,000倍（5ml/10ℓ）〔前日まで/2回以内〕		
ハスモンヨトウ	28	フェニックス顆粒水和剤	2,000倍（5g/10ℓ）〔前日まで/2回以内〕	のいずれかを10a当たり100～300ℓ散布する。	
	11A	ゼンターリ顆粒水和剤	1,000倍（10g/10ℓ）〔発生初期ただし収穫前日まで/ー〕		
ナメクジ類	－	ナメククリーン3	〔前日まで/2回以内〕を10a当たり3kgを株元散布する。		

農薬の使用にあたっては、使用回数に加え、有効成分ごとの総使用回数も定められているので遵守する。

成分名	RAC	農薬名	使用回数	同一成分総使用回数	備 考
ニテンピラム	4A	ベストガード粒剤	1回	4回以内	定植時の土壌混和は1回以内、株元散布及び散布は合計3回以内
		ベストガード水溶剤	3回以内		
トリフルミゾール	3	トリフミン水和剤	5回以内	5回以内	
	U6,3	パンチョTF顆粒水和剤	2回以内		
イミノクタジン	M7	ベルコートフロアブル	5回以内	10回以内	10回以内（但し、育苗期は5回以内、本圃では5回以内）
		ベルコート水和剤	5回以内		